

札幌市立高校において 令和4年(2022年)度入学生から BYOD (※1)による 1人1台端末の活用が 始まります

札幌市立高校において、学習指導要領の改訂に合わせ、生徒一人一人がICT(※2)を活用して、主体的に学びを深めることができるよう、令和4年度からBYODによる1人1台端末の活用が始まります。

今後の1人1台端末の活用に向けて、令和4年度の新1年生から、学習用端末のご購入をお願いいたします。



1人1台端末の活用により

1

「学びの深化」「学びの転換」を図ります

個人が調べた内容について、リアルタイムに共有しながら、グループで学び合うことにより、学びを一層深めることができます。



2

「情報活用能力」の育成を図ります

情報を適切に収集・整理・分析・発信できるようになる力を育みます。



3

次のような学び方がいつでも可能となります

- 動画等のデジタル教材の活用
- インターネットを用いた情報収集
- 写真や動画による記録や作品の共同制作
- デジタルホワイトボード等を用いた協働学習
- アンケート機能を用いた意見収集
- 課題のオンラインでの提出 など



端末購入に関するQ&A

Q 小中学校は公費で整備されたのに、高校では保護者の負担になるのはなぜですか？

A 義務教育である小中学校では、児童生徒全員分の端末整備に対し、国の補助金制度が設けられていますが、高等学校では限られた台数のみの補助金制度となっており、公費での整備は難しい状況です。

また、道立高校や、札幌市をはじめ、他の多くの政令指定都市の市立高校も私費負担を基本としています。ご理解とご協力をお願いいたします。

Q なぜ令和4年(2022年)4月からなのですか？

A 令和4年度の一年生から、学年(年次)進行で新たな学習指導要領が実施され、情報活用能力の向上が一層求められるため、普段の学習活動からの能力育成が重要です。

また、小中学校では、令和3年度(2021年度)から、全学年で1人1台端末を活用した授業が始まっており、現在の小中学生が高校に進学しても切れ目なく同様に学べる環境を整える必要があります。

Q どのような端末を選ばばよいですか？

A 端末の仕様に差異が大きいと授業に支障が出るため、一定の仕様を満たした機器をご購入いただくこととなります。詳細は各学校から連絡いたします。

保護者の皆様へ

デジタル教材の授業での使用や、生徒の皆さんへの課題の提出等を効果的に行うことができるよう、インターネット上のサービス(クラウドサービス※)を使用します。ご理解いただきますようお願いいたします。

※クラウドサービス インターネット上のサーバー群を利用して提供されるサービスのことで、学校で活用することを想定した様々な無料のアプリなどが提供されています。

詳細につきましては各札幌市立高校へお問い合わせください。

●札幌市公式ホームページ 市立学校一覧-高等学校

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/school/ichiran/koko.html>



●札幌市立高校ポータルサイト 市立高校学校紹介

<https://ichiritsukoukou.jp/school-introduction/>



札幌市教育委員会

